

コンパクト SUV『エクスフォース』HEV モデルが 2024 年「ASEAN NCAP」で最高評価となる 5☆を獲得

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、コンパクト SUV『エクスフォース』ハイブリッド EV（以下 HEV）モデルが、アセアン地域の新車を対象に安全性能を総合評価する「ASEAN NCAP^{*1}」において、『エクスフォース』のガソリンモデルに加えて最高評価となる 5☆（ファイブスター）を獲得したことを発表しました。

三菱自動車は、交通事故ゼロのクルマ社会に向けた安全理念を掲げ、安全技術の開発・普及と、交通安全教育の 2 つの側面から取り組みを進めています。



『エクスフォース』
HEV モデル

『エクスフォース』HEV モデルは、先進運転支援機能「Mitsubishi Motors Safety Sensing」を搭載。レーダークルーズコントロールシステム [ACC^{*2}] や衝突被害軽減ブレーキシステム [FCM^{*3}]、後側方車両検知警報システム（レーンチェンジアシスト機能付）[BSW / LCA^{*4}]、後退時交差車両検知警報システム [RCTA^{*5}]、オートマチックハイビーム [AHB^{*6}]、先行車発進通知 [LCDN^{*7}] の 6 種の先進安全装備によって、高い予防安全性能を備えています。さらに、衝突時のエネルギー吸収とキャビンの変形抑制を両立させた衝突安全強化ボディ「RISE^{*8}」に加え、6 つの SRS エアバッグを採用することで衝突安全性能も確保しています。

『エクスフォース』HEV モデルは、2023 年にインドネシアで発表した『エクスフォース^{*9}』に HEV システムを搭載したモデルで、2025 年 3 月にタイで世界初披露しました。

「Best-suited buddy for an exciting life（毎日を愉しく過ごすことができる頼もしい相棒）」をコンセプトに開発した 5 人乗りのコンパクト SUV に、三菱自動車が誇るプラグインハイブリッド EV（PHEV）由来の HEV システムを搭載し、より高効率で優れた環境性能と力強い加速性能を実現しました。また、FF 方式の 2WD をベースとしながら、アクティブヨーコントロール（AYC）を始めとした独自の四輪制御技術と 7 つのドライブモードにより、さまざまな走行状況や天候、路面においても、ドライバーの意のままの安全・安心な走りを可能にします。

- *1 : New Car Assessment Program for Southeast Asian Countries の略称
- *2 : Adaptive Cruise Control
- *3 : Forward Collision Mitigation system
- *4 : Blind Spot Warning with Lane Change Assist
- *5 : Rear Cross Traffic Alert
- *6 : Automatic High Beam
- *7 : Leading Car Departure Notification
- *8 : Reinforced Impact Safety Evolution の略称
- *9 : 一部の国・地域では『アウトランダースポーツ』として販売

以上